



2021年度 後期キリスト教週間

キリスト教講演会

日時：2021年10月21日（木）※オンライン開催
（14時30分より本学 YouTube アカウントにて配信）

講師：^{ぐしけん}具志堅 ^{たかまつ}隆松 氏

1954年生まれ。67歳。
沖縄県那覇市出身。

沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表。

～ ガマフヤーの活動について ～

沖縄のガマ山野の沖縄戦被災者の遺骨を、慰霊のため収集し、家族のもとへ帰す活動を通して、民間人をまき込んだ地上戦の実相に近づき、戦争のない次世代をつくるための精神的な礎とする。

～ これまでの歩み ～

1982年、はじめて遺骨収集に参加。

つぎつぎと掘り出される人骨に衝撃を受け「できればもう二度としたくないと思う。しかし、高齢化や情報の少なさなどのために、多くの遺族が遺骨や遺品の収集をあきらめるのを見て「遺骨を遺族のもとに帰したい」という思いを強める。以来、30年近く、ガマやかつての激戦地の遺骨を収集しつづけている。激戦地がつぎつぎと都市開発によって消えていくのを目のあたりにして、遺骨収集の必要性を国や自治体に訴える。

2009年10月から2カ月間、那覇市真嘉比地区で、ホームレスや生活保護受給者ら55人を雇用した遺骨収集事業を実施。子どもや若い世代に向けて遺骨収集のボランティア活動を募集するなどして、戦争の現実を伝える活動をしている。

2011年度、吉川英治文化賞を受賞。

NPO「県民の手による不発弾の最終処分を考える会」代表。

2012年9月10日

『ぼくが遺骨を掘る人「ガマフヤー」になったわけ。』第1版発行。

